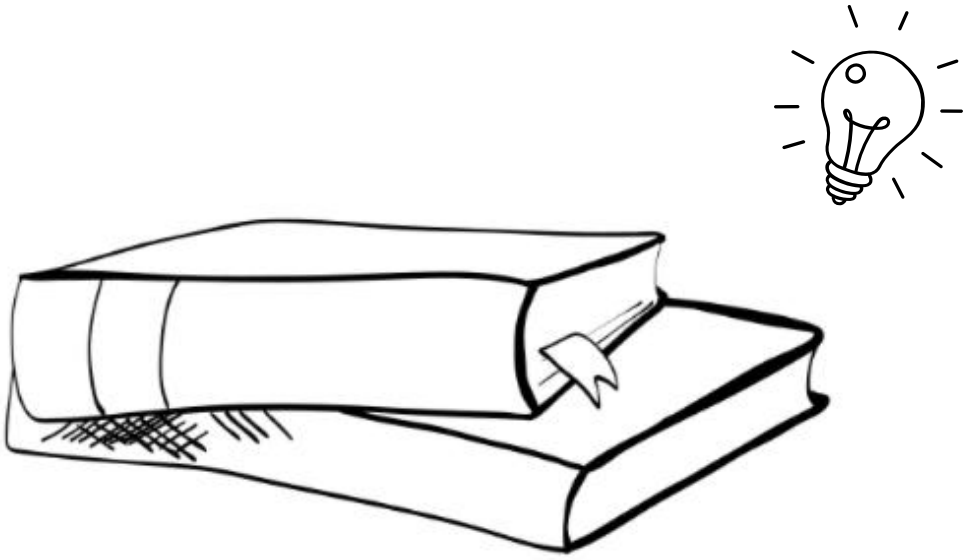
2025年度

OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY

Newsletter

FD・SD活動推進委員会

vol.09



2025年度を振り返って

平素より本学のFD・SD活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。『Newsletter』第9号をお届けいたします。

2025年度は、急速に変化する教育環境を見据えながら、実践的かつ対話的なFD・SD活動を展開してまいりました。春期FD・SD研修会では、「変化する高校教育に大学はどう応えるべきか？」をテーマに、接続教育の在り方について活発な議論を行うことができました。秋期FD・SD研修会では、本学初の体験型AI研修を実施し、ChatGPTやCopilotを活用しながらプログラミングを学びました。

こうした取り組みの積み重ねが、授業改善や教育実践の質の向上につながり、学生からも高い授業評価を得ることができました。これもひとえに、教職員の皆様の日頃のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

2026年度は、AIを活用した授業実践をさらに発展させ、FD・SD活動と日常の教育実践とをより密接に結びつけてまいります。引き続きご理解とごご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年度の取り組み

教職員がともに学びを深めた１年

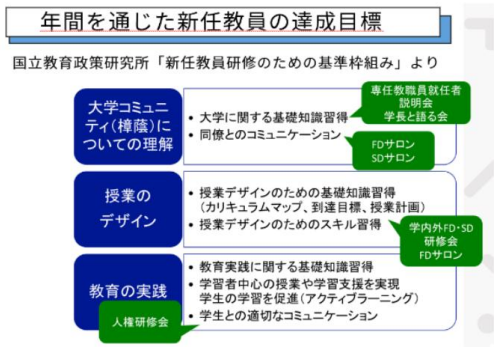
高校教育の動向の理解、AI活用の実践、シラバス作成の改善、ボードゲームでコミュニケーションを深めるなど、教職員の皆様のおかげで、多くのFD・SD活動に取り組むことができました。

４月	・学長と“樟蔭”について語る会（4/9） ・草の根FD・SD活動「研究マインドをさらに高めよう！」アカデミック・サロン（4/17） ・草の根FD・SD活動「『SHOINプレコンセプションケア成果報告書』を活用したFD・SD」（4/22） ・草の根FD・SD活動「生成AIプロンプト募集」（4/22）➡「2025年度生成AIプロンプト集」
５月	・草の根FD・SD活動「manabaコース見学」（5/7～3/31） ・春期より良い授業実践のための中間アンケート（5/6～5/18） ・春期授業見学・公開（5/7～7/29） ・草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～第3弾！申請書のピア・レビュー～」はじめよう科研費申請（5/15）
６月	・オンラインでできる11の学内研修「AI・授業改善などの動画を使用したFDSD活動について（6/10） ・春期（第1回）SDサロン「各種事務手続きに関する説明」（6/11） ・春期FDサロン「教育支援ツールを使いこなそう」（6/12） ・草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～第3弾！申請書のピア・レビュー～」ブラッシュアップ（6/12） ・春期「より良い授業実践のための中間アンケート」実施状況に関するアンケート（6/17～6/30）
７月	・春期より良い授業実践のためのアンケート（7/7～8/1） ・草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～第3弾！申請書のピア・レビュー～」完成へ（7/10） ・草の根FD・SD活動「アセスメントテストを活用したFD・SD（GPS-Academic）」（7/10～7/31）
８月	・春期FD・SD研修会「変化する高校教育―大学はどう応えるべきか？」（8/7） ・人権研修会「大学で起こるセクシャル・ハラスメントを防止するために」（8/25～9/20）
10月	・草の根FD・SD活動「研究マインドをさらに高めよう！」アカデミック・サロン（10/9） ・草の根FD・SD活動「2025年度春期「より良い授業実践のためのアンケート（自由記述）の結果まとめについて」（10/14～12/31） ・秋期授業見学・公開（10/13～1/26） ・秋期より良い授業実践のための中間アンケート（10/27～11/8）
11月	・秋期FDサロン「シラバス作成に向けて ―振り返りを来年度にいかす―」（11/13） ・草の根FD・SD活動「研究マインドをさらに高めよう」アカデミック・サロン（11/13） ・秋期「より良い授業実践のための中間アンケート実施状況」に関するアンケート（11/17～11/29）
12月	・草の根FD・SD活動「研究マインドをさらに高めよう！」アカデミック・サロン（12/11） ・秋期（第2回）SDサロン「遊んで深めるコミュニケーション」（12/11）
１月	・草の根FD・SD活動「研究マインドをさらに高めよう！」アカデミック・サロン（1/15） ・秋期より良い授業実践のためのアンケート（1/5～2/2）
２月	・秋期FD・SD研修会「AI活用を前提とした教育へ：体験を通して考えよう！」（2/12）
3月	・草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ～2027年度科研費申請にむけて：採択者に聞く～」（3/12）

研修会の実施報告

●学長と“樟蔭”について語る会（4/9開催）

開催日：2025年4月9日（水）13：30-15：30
参加者：21名（新任教員：11名、委員 他：10名）
場所：記念館1階 M101教室



樟蔭の桜が満開を迎える頃、大阪樟蔭女子大学では教員11名をお招きし、「学長と“樟蔭”について語る会」を開催しました。本会は、新たに着任された教職員の皆様に樟蔭をより深く知っていただくことを目的に、さまざまな角度から本学の取り組みをご紹介するものです。

当日は、森教務部長より本学の教育的な取り組みについて、また豊島学生部長より、日頃の学生の様子や学生支援の方法などについてご説明いただきました。さらに竹村学長からは、教員活動評価の方法などについてお話しいただきました。

アイスブレイクとして富田委員による「共通点ビンゴゲーム」が行われ、新任教職員同士の意外な共通点に、会場には和やかな笑顔が広がりました。その後は、竹村学長が新任教員からの質問に一つひとつ丁寧にお答えくださり、大変充実した研修会となりました。

●春期FD･SD研修会（8/7開催）

開催日：2025年8月7日（木）16：30-17：35
参加者：51名
場所：G501教室

「変化する高校教育―大学はどう応えるべきか？」をテーマに、ベネッセグループ進研アドの杉山大介様をお招きし、ご講演をいただきました。知識の習得が中心だった昔の高校とは異なり、現在の高校生は早期からキャリアを意識し、探究活動やデータサイエンス、AIなど幅広い学びに向き合っています。その一方で、「やりたいことが分からない」「学ぶ意味を見いだせない」といった不安を持っているという点が印象的でした。

参加された先生方からは「①オープンキャンパスにおいて、探求の時間につながるネタになりやすいテーマを提示することが大事ということ、②女子大が存続していくためには、大学の特徴を明確に伝え、早めの動きだしをシャープに！ということを学びました」や「一丸となって高校生に選んでもらえる大学作りができるといい」という感想がありました。

大阪樟蔭女子大学の魅力を明確にし、「ここで学びたい」と思えるワクワクする学びを作っていく必要性を改めて実感するFD・SD研修会でした。

●秋期FD･SD研修会（2/12開催）

開催日：2025年2月12日（木）
17：00-18：00
参加者：　49名
場所：G501教室

「AI活用を前提とした教育へ：体験を通して考えよう！」をテーマに、関西学院大学大学院の破田野智己先生をお迎えし開催しました。研修は、生成AIに「心がない」ことを実感するワーク、バイブコーディング体験、教育・業務の事例紹介の三部構成で実施されました。詩の解釈やWebアプリ用プロンプト作成など、自ら手を動かしてチャレンジする時間が多くありました。「自分にもできた」「授業で使いたい」との声も多く、生成AIの可能性と限界を体験的に学べる有意義な場となりました。

アンケートから、経験値による多様なニーズも見えました。生成AIを使い始めたばかりの参加者からは「基礎理解の助けになった」と好評を得た半面、普段から生成AIを使いこなす方からはより発展的な内容を望む声も聞かれました。生成AI活用をめぐる多様性が明らかになったことも大きな成果です。生成AI活用の重要性が高まるなか、FD・SD活動推進委員会では教職員の皆さまが理解を深め実践できるよう、今後も楽しく効果的な研修の充実に努めてまいります。

●草の根FD活動：より良い授業実践のためのアンケート（自由記述）結果まとめ― 学生の声から見る、より良い授業実践へのヒント ―（10/14配信）

本報告書は、2025年度春期に実施した「より良い授業実践のためのアンケート（自由記述）」をもとに授業改善の視点を明確にすることを目的として作成されました。

133人の学生からの授業に対する率直な意見や感想をもとに、教育環境や学修支援、教員の指導方法、ICT活用など、授業の質向上に向けた課題と改善策についてまとめております。

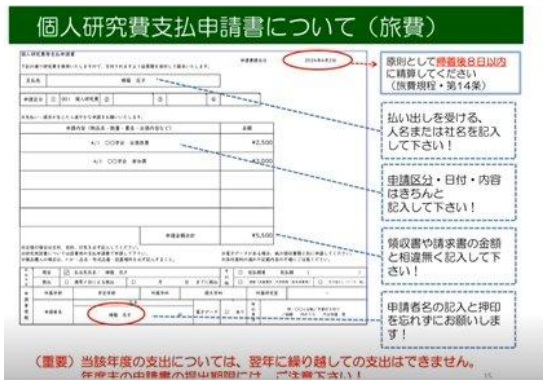
学生の声を授業運営やカリキュラム改善に活かすことで、より良い学びの場を共に築いていきましょう。

↓こちらのリンクから報告書をご覧いただけます！
より良い授業実践のためのアンケート（自由記述）結果まとめ― 学生の声から見る、より良い授業実践へのヒント ―

サロンの実施報告

●SDサロン（春期：6/11　秋期：2/18開催）

春期「各種申請に関する手続きについて」



開催日：2025年6月11日（水）14:40-15:40
参加者：22名　開催：Teams

経理課・松井様、総務課・太田様をお迎えして、研究費や出張旅費の申請方法と注意点についてレクチャーいただきました。昨年度に引き続きTeamsでの開催だったため、目的ごとのシステムの使い方について画面を見ながら教えていただけただけでなく、チャットでの質問や後から録画を見返すことができることなどのメリットがありました。新任の先生方はもちろんのこと、在職者にとっても申請方法を再確認できるよい機会となりました。

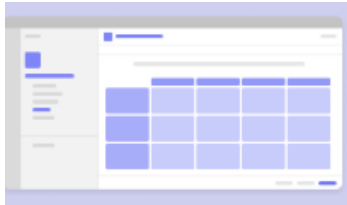
開催日：2025年12月11日（木）12:30-13:30
参加者：10名
開催：G504・G505教室

秋期「遊んで深めるコミュニケーション」

教職員どうしの交流を活性化する方法のひとつとしてボードゲームやカードゲームをつかったコミュニケーションの場を提案し、「DAIGAKU～いばら色のキャンパスライフ～」をはじめとするゲームを皆様に体験していただきました。授業での「対話」や「協働」を引き出す工夫としても注目されるゲーム。SDサロンでは初めての試みでしたが、授業期間中の昼休みにもかかわらず多くの方が参加くださり、相互理解に役立つゲームを知るとともに遊びの中で参加者どうしの意外な一面を見ることもできました。使用したゲームはラーニングサポートで貸出可ですので、今後もぜひお役立てください。

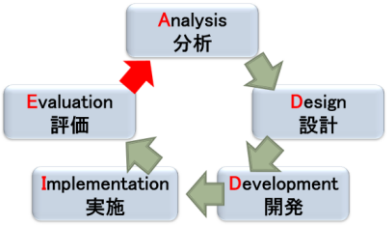
●春期・秋期FDサロン（春期：7/11・秋期:12/12開催）

春期「教育支援ツールを使いこなそう」



富田先生からアカデミックスキルズの授業で実践しているTeamsを活用した課題を例に、Teamsの良いところをご紹介いただきました。Teamsではルーブリックで採点が可能であることや、学生へのフィードバックとして良いことなど、Teamsだからこその利点のほか、実際に活用した際の障壁について、サインインできない学生が少なからずいること、プレビュー時にレイアウトが崩れることがあるなどのお話がありました。

「ADDIE」モデル



秋期「シラバス作成に向けて ー振り返りを来年度にいかすー」

北村先生からシラバス作成に向けて、授業づくりに役立つ「ADDIE」モデルのご紹介がありました。「分析」「設計」「開発」「実施」「計画」のサイクルを考えながら授業を構成するモデルで、そのポイントを分かりやすく説明してくださいました。また、授業を設計する方法として、「ガニエの9教授事象」の「導入」「展開」「まとめ」についてもお話がありました。

春期 <2025年6月12日（木）16：30～／参加者：23名／場所：G504・G505教室 >
秋期 <2025年11月13日（木）16：30～／参加者：22名／場所：G504・G505教室>

FD・SD関連書の紹介

「各人の〈自由〉および社会における〈自由の相互承認〉の〈教養＝力能〉を通した実質化」（p125）

我々大学教員は日本の高等教育を担う一員ですが、そもそも教育とはなんなのか、その哲学的原理を考えたことはあるでしょうか。お恥ずかしながら、私は考えたことがありませんでした、今回紹介する本に出会うまでは。冒頭の引用は、本書において公教育の本質として示された一文です。本書は、哲学に明るくない方でも十分に理解できる構成になっており、大変お勧めです。

本書は教育の哲学的本質を示すだけでなく、教育学の実証部門および実践部門のメタ理論も提示しています。学問を教える大学における教育実践を、教育学という学問に裏打ちされたものにするには、本書は必読書であると言っても過言ではないでしょう。

苫野　一徳　著
『学問としての教育学』
日本評論社　2022年

数字で見るFD・SD活動（2025年度）

教員のFD・SD活動への参加率が高い！
研修会の満足度が高い！

今年度、教員の全員がFD・SD活動に参加されました。
FD・SD研修会は、春期・秋期ともに大変ご好評いただきました。

●FD・SD活動への参加率（全体94名中94名）

100％

●FD･SD研修会満足度（春期／秋期）

100％／95.4％

FDポイント基準以上取得者数26％！（全体94名中24名）
FDポイント表彰対象者4名！

FD・SD活動への自主的、積極的な参加を促進することを目的として、基幹教員は単年度に10ポイント以上を目安に、新任の基幹教員は12ポイント以上を取得することを基準としております。

FDポイントを、単年度で25ポイント以上取得された方、および累計で100ポイント取得された方は、年度初回の教授会にて学長から特別顕彰されます。今年度は25ポイント以上取得が0名、累計100ポイント取得が4名顕彰されることになりました。

なお、2025年度のFDポイント顕彰規定の改定により、副学長および委員については250ポイントが特別顕彰の基準となりました。このたび、白川副学長、北村委員、坂田委員の3名がこの新基準に到達しました。北村委員および坂田委員は、規定に基づき特別顕彰の対象となります。また、白川副学長はすでに100ポイント時点で特別顕彰を受けておられますが、今回、制度改定後初の250ポイント到達者として、その功績をご紹介いたします。

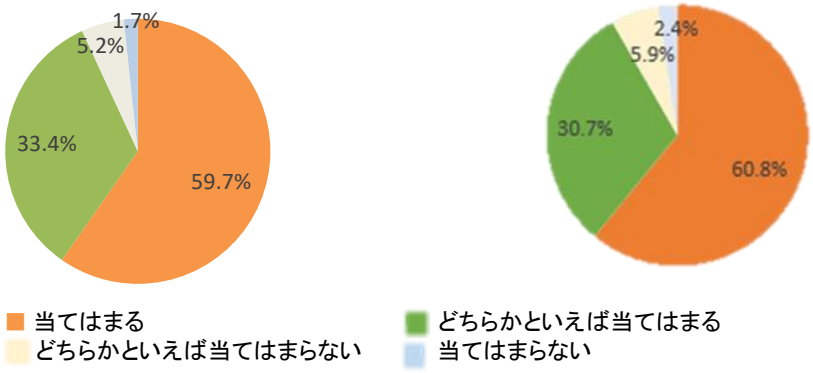
学生の授業への満足度が高い！

授業に対する満足度に関する設問に90%以上の学生が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しました。

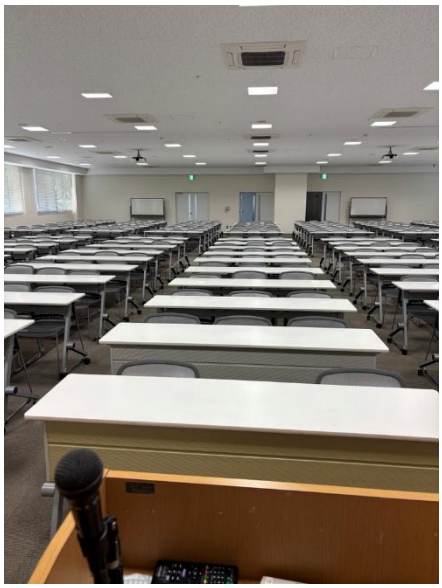
●より良い授業実践のためのアンケート満足度（春/秋）

93％／ 92％

●授業に対する満足度（設問8）



2025春（回答者数：のべ 2737名）　2025秋（回答者数：のべ 3814名）



学生の声から見る、より良い授業実践へのヒント

2025年度春期に実施した「より良い授業実践のためのアンケート（自由記述）」から
学生の声を抜粋しました。

質問すると自身の経験や知識を最大限活用してお答えくださるので、レポートやスライド制作などで非常に助けられてます。

課題が大変だったけど大変な分達成感があって、褒めてもらったときにとてもうれしかったです。

ICT・教材・情報提供に関する意見

- 復習教材（プリントやドリル）をmanabaにアップして
- 授業内容や課題配信のタイミングを統一して
- 授業中にResponのチャット機能を活用して

授業方法・内容に関する意見

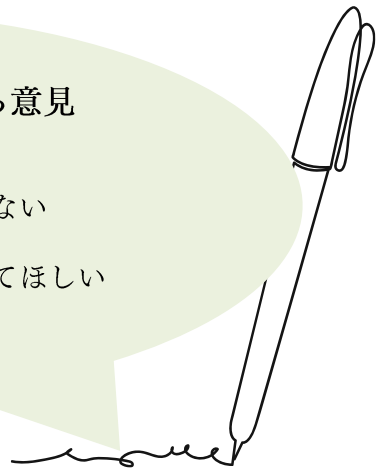
- ただの講義ではなく、学生が興味をそそられる、参加型の授業がよい
- 自主学習（予習復習）をする時どこを勉強するか分からないので教えて

質問対応に関する意見

- 質問しづらい先生もいるので改善を
- 気軽に質問できる環境（ツール）を整えて

授業運営・学習環境に関する意見

- 授業の終了時間を守ってほしい
- 黒板やスライドを写す時間が足りない
- 私語やスマホに注意してほしい
- スライドを見せるとき照明を消してほしい
- 空調の温度調整をしてほしい



委員会メンバー

OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY

FD・SD活動推進委員会

委員：北村瑞穂、坂田浩之、角谷雄哉、真殿由加里、富田愛佳、森優子
事務：吉田裕亮

問い合わせ先：大学事務部　修学支援課（fd-sd@osaka-shoin.ac.jp）